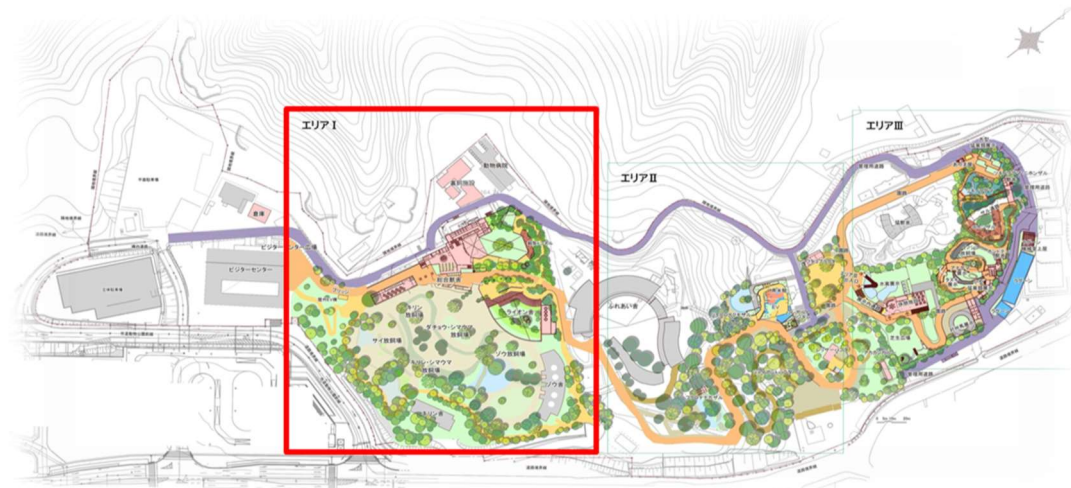


■基本計画図(全体)



■エリアI 展示コンセプト



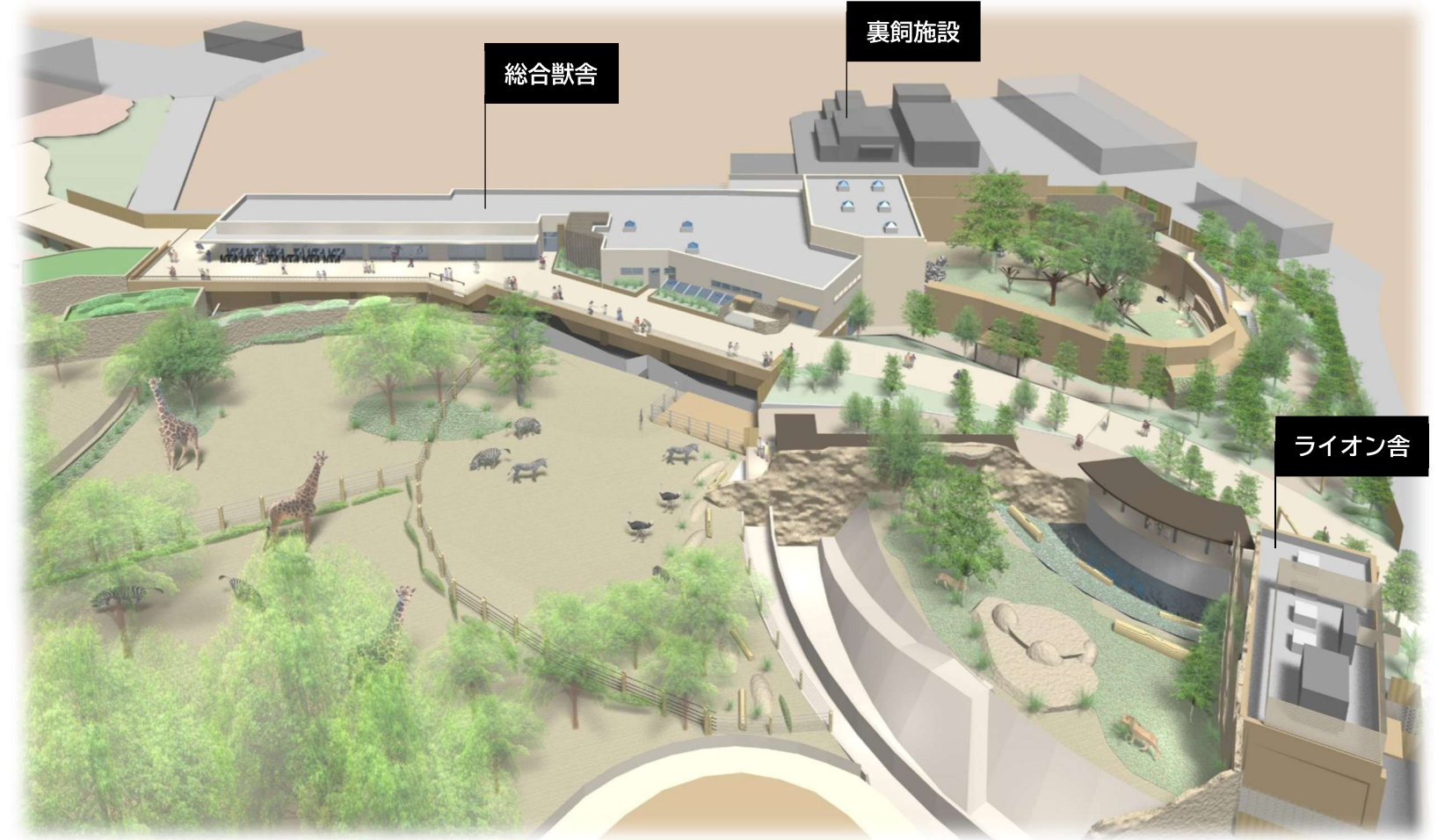
現在、園内に分散しているアフリカ地域の動物をエリア内に集約し、既存アフリカ園を活かした新アフリカ園として、大型希少動物を中心とした展示エリアとし、アフリカの自然の中で野生動物を観察しているような展示環境を演出する。

アフリカに生息する動物種の多くは絶滅の危機に瀕していることから、展示を通して希少動物に興味をもってもらうとともに、希少種の生態や現状、保全について理解してもらう。

展示動物

- ・哺乳類：カバ、クロサイ、グラントシマウマ、ワオキツネザル、クロシロエリマキツネザル、チンパンジー、アビシニアコロボス、ライオン、アミメキリン、アフリカゾウ
- ・爬虫類：マダガスカルホシガメ、ケヅメリクガメ、パンケーキリクガメ
- ・鳥類：ダチョウ

■エリアI 鳥瞰図(イメージ)



■エリアI 整備スケジュール(予定)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
裏飼施設	新築	実施設計	工事				
既存施設 (は虫類館等)	解体	実施設計	工事				
総合獣舎	新築	実施設計	工事				
ライオン舎	新築				実施設計	工事	

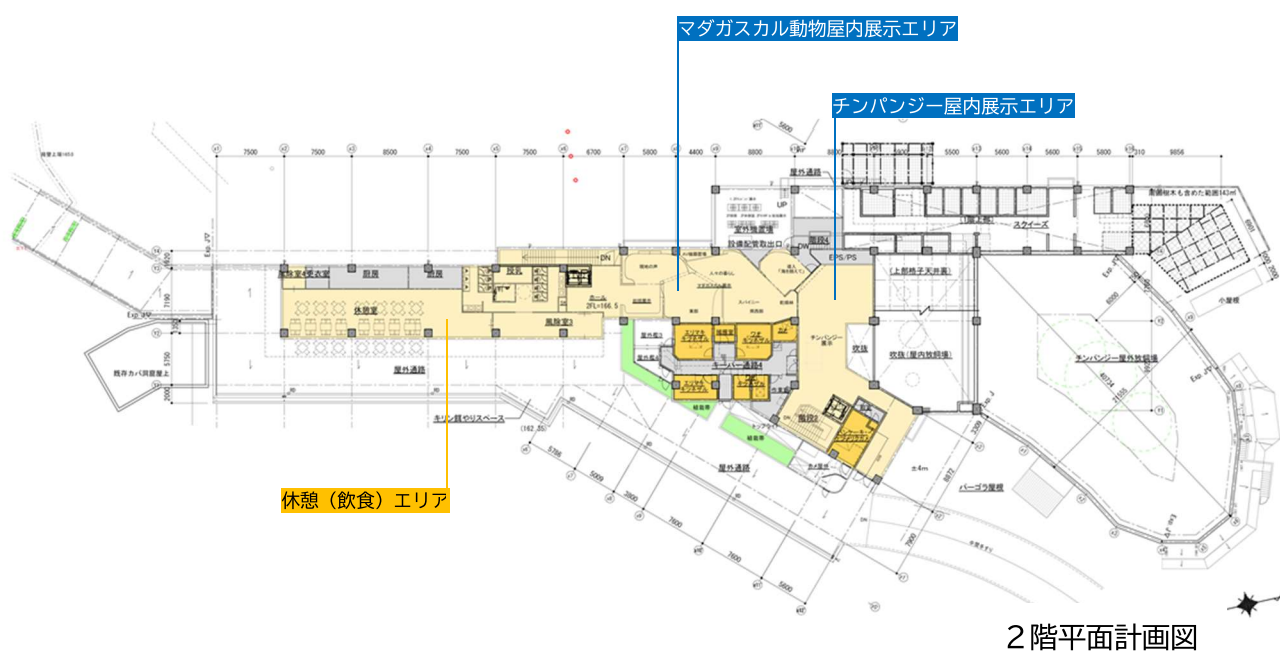
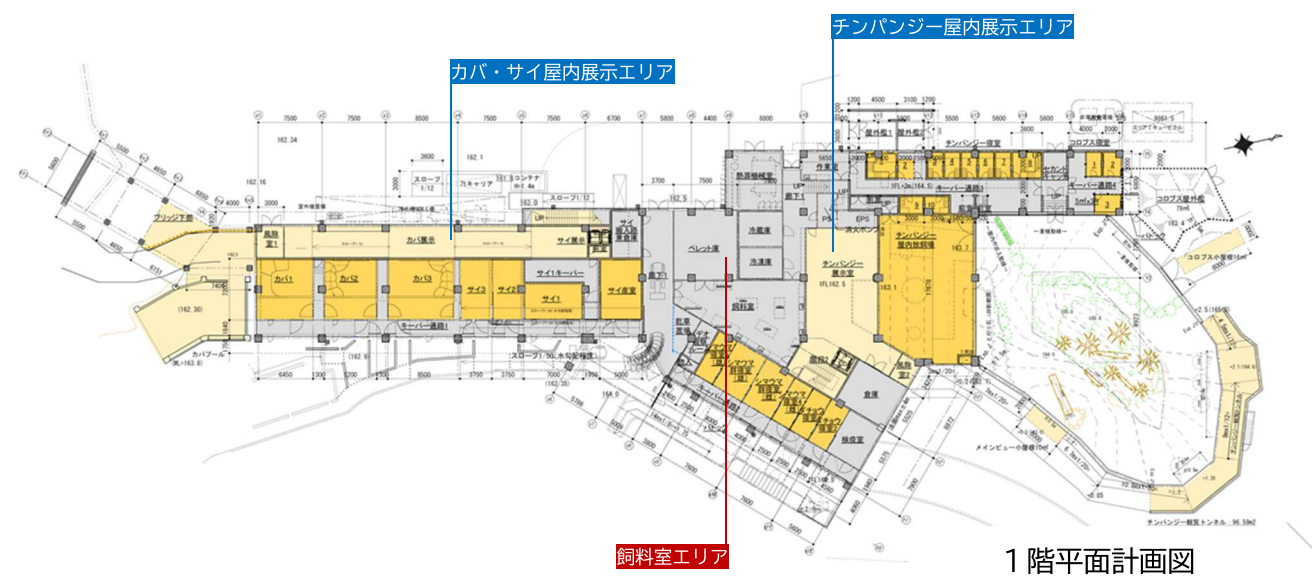
■総合獣舎

これまで分散していたアフリカ地域の動物種の各獣舎を集約し、飼育展示を行う施設。

新アフリカ園を代表する施設として、屋内展示エリア（カバ、サイ、チンパンジー、マダガスカル地域の動物種）や来園者の休憩（飲食）エリアも充実させるほか、飼育作業の効率化を図るため飼料室も設置する。

【階数・構造】：地上2階・鉄筋コンクリート造

【延床面積】：約 2,850 m²（下屋等含む）



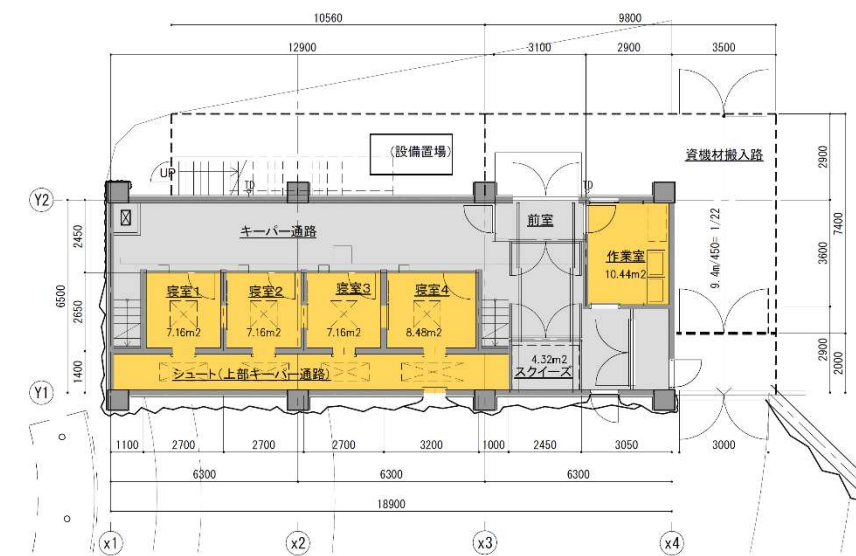
■ライオン舎

アフリカを代表する肉食獣であるライオンの飼育展示を行う施設。

サバンナゾーンの一角として、ライオン本来の生態（群れ・社会性）を伝えるとともに、既存アフリカ園で飼育している草食獣と同じ空間にいるような展示環境を構成する施設とする。

【階数・構造】：地上1階・鉄筋コンクリート造

【延床面積】：約 250 m²（下屋等含む）



■裏飼施設

動物の予備放飼場として使用するほか、施設長寿命化再整備の実施にあたり、一時的な飼育場所として活用する非展示施設。

【階数・構造】：地上1階・鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

【延床面積】：約 400 m²（倉庫等含む）

